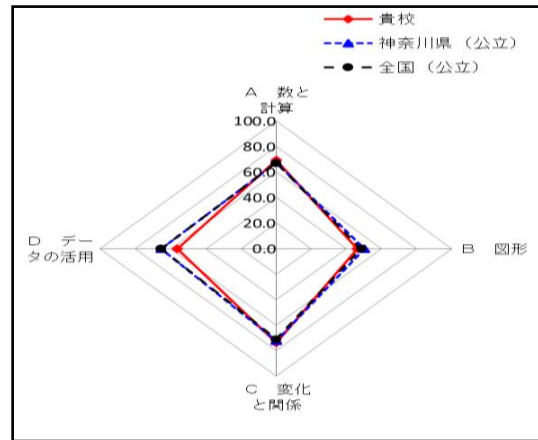
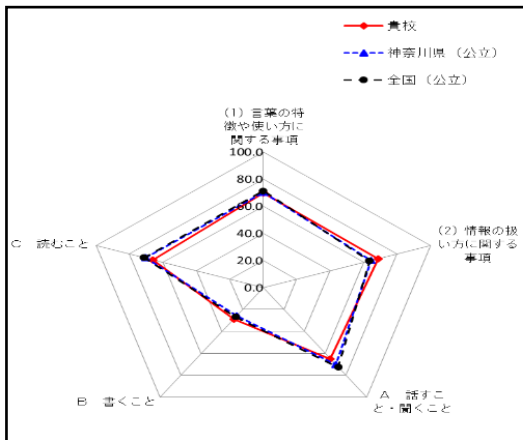


# 令和5年度 全国学力・学習状況調査 中丸小学校の結果と分析

令和5年4月18日に6年生を対象に実施された、全国学力・学習状況調査の各教科に関する結果をお知らせします。

国語の正答率は全国平均よりもやや低い状況があり、算数の正答率は全国平均よりも高い状況が見られました。

【国語】-2.2（本校：65 全国：67.2） 【算数】+0.5（本校：63 全国：62.5）



## 国語

・【知識・技能】は、全国平均を上回っています。（本校：69.4 全国：68.9）

特に「情報の扱い方に関する事項」については、原因と結果を結び付け、筋道立てて捉えることや情報を整理することがよくできています。本や資料などをもとに必要な情報を選び、整理したり、まとめたりすることの知識や技能が高まっていることで自分の知識を広げることにもつながっています。ただ【知識・技能】でも「言葉の特徴や使い方にに関する事項」については全国平均より低い結果となっています。汎用性のない知識で留まってしまっているため、習った漢字をすすんで書いたり読んだりすることや、言語の働きの特徴を捉え、実生活においても知識として活用することを大切にしながら学習に取り組んでいきます。

・【思考力・判断力・表現力等】は、全国平均より低い結果となっています。（本校：60.2 全国：65.5）

ただその中でも【思考力・判断力・表現力】を見取る「書く能力」の評価項目は全国平均を上回っています。考えたことを表現することを意識して積極的に学習に取り組んだ結果だと考えます。「話すこと・聞くこと」や「読むこと」の評価項目は全国平均より低いです。中心となる語や文を見つけて要約するなどの深い読み取りを行うことや、話の内容を捉え自分の考えと比べながら聞いたり、考えたことを表現したりすることにより力を入れ、取り組んでいく必要があると考えます。

## 算数

・【知識・技能】は、全国平均より低い結果となっています。（本校：65.3 全国 67.2）

特に「数と計算」「変化と関係」「データの活用」の領域は低い傾向にあります。知識として理解している児童は多いです。学習したことを日常の生活に結び付けて考えようと意識して取り組んでいく必要があると考えます。そのために必要感をもって主体的に取り組めるような課題設定をしたり、知識・技能を実生活でも活用できるような授業づくりをめざしたりするなど再度見直していきます。

・【思考力・判断力・表現力等】は、全国平均を上回っています。（本校：58.9 全国：56.5）

とくに「数と計算」「変化と関係」の2領域はともに全国平均を上回っています。「図形」「データの活用」の領域は、平均より低いところもあります。今後も普段の授業から、今まで学習した内容を生かし立式したり、思考を深めたりする問題解決の過程と、自分の言葉で筋道立てて考えを伝え、友達に丁寧に説明するというような協働的な学び合いの過程を大切に進めていきます。